



ぱんだ・ぞう・きりんぐみだより

きらら保育園 令和5年3月31日発行

日に日に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。

11日に無事卒園式も終わり、子ども達も新年度の話をするようになりました。きりん組の2人は「私は〇〇色のランドセル」「私は〇〇色」と、小学校に行くのをとても楽しみにしています。ぞう組の子どもたちは「今度は何組さんになるんですか?」と聞くと、すぐ「きりん組～」と大きな声で答えてくれます。ぱんだ組の子どもたちは「次はぞう組さんだね」と話すと、「ぞう組～?」とまだピンときていないようです。

この一年で子どもたちは大きく成長しました。ぱんだ組の子どもたちは、2階に上がったばかりの頃は、自分のことをするのにだいぶ時間がかかりましたが、今ではテキパキと行い、小さなお友だちのお世話まで出来るようになりました。ぞう組の子ども達は、行事で大活躍! 踊ったり、走ったり、演技をしたり、毎回とても楽しそうでした。きりん組の子ども達は、ぱんだ、ぞう組のお世話をしてくれ、そしてお手本になり何でも進んでやってくれました。先生からも頼りにされる、とても頼もしい存在でした。

この一年でいろいろな行事があり、とても良い経験ができました。野菜を植えて育てていくところを見て、収穫をし、食べることができました。夏祭り、運動会、動物園遠足、芋掘り、ハロウィン、大きな田んぼでの稲刈り、脱穀をして調理をする、そして発表会もありました。毎日の練習の成果を見て頂くことができとても嬉しかったです。沢山の経験をして、成長した子どもたちをみていると、とても嬉しく、そして頼もしく思います。毎日子どもたちの笑顔を側で見ることができ、担任としてとても幸せでした。

保護者の皆様には、この一年ご協力いただき、ありがとうございました。



担任 堀 照代

クラスの子どもたち



卒園式の二人



最後の英語教室でパチリ

